

人生は良くない 俳句における倫理的反出生主義

概要

あなたの人生は良いですか？

ならば、あなたは幸運な数少ない知覚を持つ生き物（人間は痛みを感じる種族の一つに過ぎません）の一人であり、豊かな喜びに満ちた人生を幸せに送っています。恵みに感謝し、幸運に感謝しましょう。どうか他の生き物たちのことも忘れないでください。

人間の誕生、特に選択されなかった誕生を阻止するあらゆる行為は、知覚を持つ生命体がこの惑星に生息する残りの40億年の間に、無数の未来の命を苦悩と死から救う可能性があります。私たちは繁殖する傾向があります。

私たちは、それらの無力化された存在が誰であったかを知ることはできませんが、彼らの人生は、今日の私たちにとってのあなたや私の人生と同じくらい現実的だったでしょう。そしておそらく、はるかに不運な人生だったでしょう。彼らは決して存在しないので、悲惨な人生を救ってくれたことに感謝することはできません。悲惨な命を奪うことを防ぐことは、私たちが匿名で贈ることができる最も寛大な贈り物です。

これが倫理的反出生主義です。

読み進めてください。しかし、警告しておきます。あなたの根底にある前提が揺るがされるかもしれません。不公平な世界に生きているだけで、私たちが直面する倫理的なジレンマに直面する準備をしてください。人間として、私たちは道徳的な選択をする力と、それに伴う責任を、他に類を見ないほど持っています。その力をどう使うべきでしょうか？

キーワード：人権、女性の権利、動物の権利、避妊、産児制限、世俗的ヒューマニズム、無神論、民主主義、倫理

